

① インバウンド対策

内部評価	今後の方向性	重点化を図る
	改善内容	インバウンド受入環境整備事業補助金等による支援により、受入体制の更なる強化を図る。
外部評価	今後の方向性	さらに重点化を図る 9人 現状のまま継続 2人 内容を改善して継続 2人

※内部評価は令和5年6月に実施した事業担当課による評価。改善内容は、令和5年度に取り組む内容。

	評価項目	指摘事項
1	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 知名度の高い地域での事業であり妥当と考えます。 ◆ 地域の立地条件をふまえた、将来のあるべき姿として推進していただきたい。 ◆ 行政と十和田奥入瀬観光機構が連携して実施すべきと考えます。
2	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題なしと考えます。 ◆ 宿泊客等からのアンケート等による検証が必要ではないでしょうか。 ◆ 民間との連携を強化していただきたい。 ◆ 外国人宿泊者数が回復傾向であり、受入体制整備は必要な事業のため、妥当と考えます。 ◆ 計画的に事業を進めていくことを期待します。 ◆ 実施した事業は外国人観光客の要望も反映させたものと推測しますが、今後のために、コロナ禍を経て外国人観光客に新たなニーズが生じていないか確認した方がいいのではと感じます。
3	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 課題の整理を明確にして実践していただきたい。 ◆ 人材育成が重要と考えます。 ◆ インバウンド対策を民間委託で丸投げするのではなく、行政主導で進めてほしい。
4	公平性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 適正であると考えます。 ◆ 宿泊施設の調査・協力が重要と考えます。
5	事業の方向性	<p>さらに重点化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ もてなす人や事業者のレベルアップ、食の満足度向上にも努めるようなプログラムも必要と考えます。 ◆ 観光は市における重要な産業の一つであると考えます。地域の活性化、雇用の創出のためにも積極的に取り組んでいただきたい。 ◆ インバウンドに関してはこれからも需要が見込めるものであり重要と考えます。 ◆ 今後、さらにインバウンド需要が見込まれるため、受入体制の整備を図っていただきたい。 ◆ 海外からの旅行客が増えてきたが、団体旅行から個人旅行への変化に応じて、もっと地域を掘り下げた体験型の観光が求められていると考えます。 ◆ 受入体制に係るWi-Fi整備は、奥入瀬渓流などそもそも電波がない場所でどうするか検討が必要と考えます。 ◆ 訪日客が増加傾向にある中、各取組を一層進める必要があると考えます。 ◆ 今後、インバウンドで外国人旅行者が市を訪れることや国内からも多くの観光客が見込まれることから、宿泊施設が不足していると考えます。関係団体・機関と連携して取り組んでいただきたい。 <p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ インバウンド需要は今後も高まることが期待されることから、引き続き尽力いただきたい。 <p>内容を改善して継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 整理すべき課題はあるものの、唯一無二の素晴らしい観光資源に恵まれているので、受入体制を是非充実していただきたい。 ◆ コロナ禍の令和3・4年度の実績をもって事業評価は難しい。事業を実施した結果、訪れた外国人観光客にどう受け止められたかを把握する必要があり、機会をみて調査のうえ事業内容も改善すべきと考えます。
6	その他提言等	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 観光案内版を多言語化し、内容を充実した方が良いです。 ◆ 全国の有名観光地では、季節に関係なく誘客が進んでいる。観光客のニーズを調査することや、民間への積極的な協力をお願いしたい。 ◆ 徒歩、自転車、自動車の混在する場所も多々あり、整備が必要と考えます。 ◆ 当日質疑等一覧表の訂正を見ると十和田奥入瀬観光機構と市の連携が不十分なのではと感じます。

② 地域子ども・子育て支援

内部評価	今後の方向性	改善して継続
	改善内容	生活保護世帯と市民税非課税世帯の病児保育事業にかかる利用料（市民1,700円/日）を、無償化する。
外部評価	今後の方向性	さらに重点化を図る 5人 現状のまま継続 4人 内容を改善して継続 4人

※内部評価は令和5年6月に実施した事業担当課による評価。改善内容は、令和5年度に取り組む内容。

	評価項目	指摘事項
1	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 妥当と考えます。 ◆ 市民を全力で支援する対策を実施していただきたい。 ◆ 少子化対策には必要な事業と考えます。 ◆ 適切な子育て支援体制の事業が整備されており、当該事業は妥当と考えます。 ◆ 子ども・子育てが家庭の事情により多様化している中で、取組が工夫されていると考えます。
2	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 十和田湖など中心市街地から離れた地域のケアの見直しも検討していただきたい。 ◆ 有効と考えます。
3	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子育て支援の人員費は増大していくので、集中型と分散型、様々なケースの検討が必要と考えます。 ◆ 民間委託では地域子ども・子育て支援は進まないと考えます。
4	公平性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題無しと考えます。 ◆ 十和田湖など中心市街地から離れた地域のケアの見直しも検討していただきたい。
5	事業の方向性	<p>さらに重点化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 人口減少に歯止めをかけるためにも重要な事業と考えます。 ◆ 女性の社会参画、夫婦共働きがスタンダードとなっている中、どんな人も気兼ねなく地域や行政サービスを頼れる子育て環境の整備が地域社会の活性化や生産性向上に繋がると考えます。 ◆ 国がこども家庭庁を発足するにあたり、その連携や、事業の一貫性を掘り下げていくとともに、庁内での「子ども」に係る事務を一本化する必要もあるのではないかと考えます。市をあげて十和田市は「子ども」を一人も取り残すことなく育てていきます、という発信力も必要と考えます。 ◆ 現状でも緻密に対応していると感じます。令和5年第3回定例会の一般質問での議会答弁で、こども家庭センターを開設するとあったが、項目によっては国の動きを先取りするぐらいの姿勢、上乘せ・横出しの検討も必要ではないかと考えます。マンパワーの確保など体制拡充への期待を込めて「さらに重点化」とした。 ◆ 重要な政策であり、積極的に進めていただきたい。 <p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ニーズは多様化しているが、できることにも限界があるので、現状の支援を維持しながら、その時々に応じて事業を変化させればよいと考えます。 ◆ 事業者も人手不足を抱えていることから、現在実施している事業の継続に重きを置きながら取り組んでいただきたい。 <p>内容を改善して継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題点を改善し、更なる継続が必要であると考えます。 ◆ 安心して子どもを育てられる環境に向け、改善を図り事業に取り組んでほしいと考えます。 ◆ 少子化が加速し、特に郡部（遠隔地）は、子どもの数がさらに減少している。その点も課題として検討していただきたい。
6	その他提言等	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子育て支援体制をさらに整備し、充実を図っていただきたい。 ◆ 市の子育て支援を含む事業について、市民はもとより、市外にも様々なツールにより発信していただきたい。 ◆ 全てを無償化することにはいかがか。共働きが当たり前となり、男女問わず重要な仕事を任される時代となった今、幼児の一時預かり等が有償であることを理由に仕事を休むこととなった場合、企業の生産性に影響を与え、税収の減少につながることにのみならず、企業に不利な面があると考えます。 ◆ 子育て世代が他地域から移住する時は、非常に重要な項目であり、充実した支援をお願いしたい。 ◆ 知事が交代したことから、県の動向を見極め連携できたらいいと考えます。 ◆ 人口減少の中、子育て支援には特に力を入れ取り組んでいただきたい。 ◆ 病児保育事業以外にも、改善内容を検討していただきたい。

③ 中央病院の医師確保

内部評価	今後の方向性	改善して継続
	改善内容	関連大学、県等への働きかけを継続するとともに、他の大学の医師派遣事業や医師幹旋会社等への多角的かつ積極的なアプローチに努めることにより、医師の確保、充足を図る。
外部評価	今後の方向性	さらに重点化を図る 6人 現状のまま継続 4人 内容を改善して継続 3人

※内部評価は令和5年6月に実施した事業担当課による評価。改善内容は、令和5年度に取り組む内容。

	評価項目	指摘事項
1	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安定した医療提供を行うためにも必要な事業と考えます。 ◆ 医師確保の難しさを感じます。 ◆ 病院経営の健全化の為に進めていただきたい。
2	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 有効と考えます。 ◆ 積極的に進めていただきたい。 ◆ 医師1人による診療科の数が減少したので、当該事業は有効であると考えます。 ◆ 医師確保のための各種努力を評価します。 ◆ 一定の成果はあると思うが、完全ではないと考えます。
3	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 開業医との連携も検討してはどうでしょうか。
4	公平性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題無しと考えます。
5	事業の方向性	<p>さらに重点化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 住みたい街を考えたときに、医療の充実も選択肢の一つであると考えます。 ◆ 上十三地域の中核病院として、引き続き、積極的な医師の確保をお願いしたい。小中高のキャリア教育に力を入れるところからも必須と考えます。 ◆ 関連大学以外からの派遣を強化すべきであり、影響を勘案したとしても消極的になるべきではないと考えます。 ◆ 「現状のまま継続」でもいいと思うが、さらに地域のニーズにあった医師確保に努めてほしいという期待を込めて、また、医師の働き方改革待ったなし、という状況を踏まえて「さらに重点化」とした。 ◆ この事業は市の医療を守るため、強化していただきたい。 <p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 様々な対応をしていると思うが、医師確保のため継続的に取り組んでいただきたい。 ◆ 引き続き、多様なアプローチで尽力いただきたい。 ◆ 全国で抱えている問題でもあり、市の事業内容を確認した限り、現状の取組を推進することで良いと考えます。 <p>内容を改善して継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 難しい問題ではあるが、市民生活には欠かせないものであり、継続が必要と考えます。 ◆ 医師の確保に向け、改善を図り、積極的に取り組んでいただきたい。 ◆ 医師確保は市民生活の安心・安全に直結するので、一層の努力をお願いしたい。
6	その他提言等	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 専攻医を増やすための指導者・設備の充実に、今まで以上に取り組んではいかがか。首都圏で働く本県出身の医師を定年時に呼び寄せる方策は考えられないか。 ◆ (事業評価とは直接関係ありませんが) 日本診療情報管理学会を拝見して中央病院の情報管理・活用の取組は面白いと感じました。見えないところで経営改善に地道に取り組んでいることが伺えました。オンライン診療への取組状況について知りたいと思いました。

④ 空き家の利活用促進

内部評価	今後の方向性	現状のまま継続
	改善内容	
外部評価	今後の方向性	さらに重点化を図る 5人 現状のまま継続 5人 内容を改善して継続 2人 事業の統廃合を図る 1人

※内部評価は令和5年6月に実施した事業担当課による評価。改善内容は、令和5年度に取り組む内容。

	評価項目	指摘事項
1	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 問題無しと考えます。 今後重要な事業と考えます。 行政が中心となって進めた方が良いと考えます。 周囲に悪影響を及ぼす事象も多いが故に必要な事業と考えます。
2	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 問題無しと考えます。 体制面もしっかり整備されており良いと思います。 空き家バンク成約数が増えており、当該事業は効果があると考えます。
3	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク制度を活用して売却（賃貸）した人に対する、空き家バンク奨励金額（50,000円）の妥当性を検討すべきと考えます。 行政は仲介業者との連携を検討すべきと考えます。
4	公平性	<ul style="list-style-type: none"> 問題無しと考えます。
5	事業の方向性	<p>さらに重点化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家は全国的にも問題になっている事象であり、重要な事業と考えます。 起業したいので空き家を探してほしいとの相談が多いが、なかなか貸してくれなかったり、高額だったりする。商店街の人口が減少している中、市に移住してくれる貴重な存在を何とかサポートしていただきたい。市の補助はなかなか使えないと感じます。 空き家は今後も増加するとみられるため、重点化を図るべきと考えます。 「現状のまま継続」では今後さらに増えるとみられる空き家に対して、対策として追い付かないのではないかと感じるので、「さらに重点化を図る」とした。人口減少、高齢化などの社会情勢が背景にあり、空き家の利活用という視点だけで解決できる問題ではないとは思いますが。 街の形成のため、重要と考えます。 <p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規取組として、所有者に手紙等で空き家バンクへの登録を勧めるとあり、周知のために大変良いと考えます。 引き続き、空き家バンクの利用者が増えるよう工夫し尽力いただきたい。 空き家バンク登録物件の周知を図り、有効利用を進めていただきたい。 空き家は全国的な問題で、人口減少や経済環境などからどうしても起こりえる問題である。市の取組としては、現状の継続で良いと考えます。 <p>内容を改善して継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 「住みたい街・移住したい街」の十和田市に期待しています。 <p>事業の統廃合を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家対策に関わる他部署の事業を再認識し、横の連携による新たな事業の組立が必要と考えます。
6	その他提言等	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクについて、売却での登録が多く感じるが、賃貸での登録を促してはどうか。（一戸建ての賃貸物件は少ないため。） 民泊運営事業者を募集し、改修費を補助する事業などを検討してはどうか。

⑤ デジタル化推進事業

内部評価	今後の方向性	重点化を図る
	改善内容	令和4年度に策定したDX化推進ビジョンに基づき、デジタル技術を活用した庁内外の取組について、引き続き調査・研究を行いながら効果的に推進する。
外部評価	今後の方向性	さらに重点化を図る 10人 現状のまま継続 2人 内容を改善して継続 1人

※内部評価は令和5年6月に実施した事業担当課による評価。改善内容は、令和5年度に取り組む内容。

	評価項目	指摘事項
1	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 妥当であると考えます。更に推進することを期待しています。 ◆ もっと高いゴールイメージを期待したい。デジタル化はあくまで手段であり、それによって何を実現したいのかという点は革新的なものを望みます。また、技術や社会的ニーズの変化も激しいことから、より早いスピード感を要するものと考えます。 ◆ 市民の利便性を図る上で、デジタル化の取組は必要であると考えます。 ◆ DX推進はスタートしたばかりなので、一層の努力を重ねていただきたい。 ◆ 積極的に取り組んでいただきたい。
2	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 周囲の環境面から見ても有効な事業かと考えます。 ◆ 計画・アクションプランはいいと考えます。 ◆ 積極的に取り組んでいただきたい。
3	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ◆ デジタル化の推進を民間委託して丸投げするのではなく、行政主導で進めていただきたい。
4	公平性	特になし
5	事業の方向性	<p>さらに重点化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ デジタル化推進に向けて、現状把握と実現のため、スピードアップを図ることが重要と考えます。 ◆ 国も推奨する事業であり、重点的に取り組んでいただきたい。 ◆ 地域の持続可能性、活性化の観点で極めて重要な事業であると考えます。少子高齢化、人口減少に伴い既に労働者不足は深刻化しており、社会機能を維持する上で、『人間のやっていることをどれだけ人間がやらなくて出来るか』が大きなポイントと考えることから、遠くない未来への投資として人員、予算ともに拡充すべきと考えます。 ◆ 国の成長戦略を考慮すると、今後益々重要な項目となることが予想されるため、重点的に事業を進める必要があると考えます。 ◆ デジタル技術活用のため、事業の改善を図りながら積極的に進めていただきたい。 ◆ 業務・利用者の利便性向上に期待します。 ◆ これからもっと推進していかなければならない事業として、市では8名体制に強化し取り組んでおり、全庁的な取組に期待します。 ◆ DXへの取組は遅いくらいと考えます。 <p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 庁内の体制を整え、市民に展開していく必要がある。高齢化が進む中、基盤をしっかりとの方がいいと考えます。 ◆ 本腰を入れはじめたという段階とみれるので、まずはDX推進ビジョン・アクションプランに沿って着実に進めていくことが望まれるのではないかと。 <p>内容を改善して継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市は高齢者人口の割合が多いと認識している。デジタルデバインド対策を強化出来ないものか。
6	その他提言等	<ul style="list-style-type: none"> ◆ さらに重点化を図り、前へ進めていただきたい。